

# ながの

Vol. **127**

2017  
Winter

平成29年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員  
協議会連合会  
会長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会  
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号  
(長野県社会福祉協議会内)

## 新年のごあいさつ

長野県知事 阿部 守一 氏

## 会長にインタビュー

県民児連会長 伊藤 篤志 氏



「民生委員・児童委員100周年」  
シンボルマーク

## Contents

- ◆知事あいさつ、新役員紹介 ..... 2
- ◆会長インタビュー ..... 3
- ◆先輩委員が語る、研修報告 ..... 4~5
- ◆民生児童委員活動の現状と課題 ..... 6~7
- ◆祝 表彰受賞者、編集後記 ..... 8

# 新年のごあいさつ



長野県知事  
阿部 守一

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日々、住民の身近な相談相手として、地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに対し心より感謝を申し上げます。

昨年は3年に1度の斉改選が行われ、多くの新任委員の皆様をお迎えして、新たな体制での活動がスタートしました。

本年は、民生委員制度創設100周年という大きな節目を迎えますので、民生委員・児童委員の意義ある活動を広く県民の皆様にご覧いただき、将来に向けてより充実したものになるよう皆様と共に取り組んでまいります。

さて、私が2期目の県政に取り組み始めて3回目の新年を迎えました。今後も、県民の皆様との「共感」と「対話」を県政運営の基本とし、県民起点で県政を進めてまいります。

また、県民の皆様にご信頼され、期待に応えられるよう、県組織を再生します。県組織全体でコンプライアンスを推進するとともに、業務の見直しなど「しごと改革」や、テレワークの拡大など「働き方改革」を進めます。

今年、総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」が最終年度を迎えます。これまで各政策を着実に遂行し、地域包括ケア体制の構築の推進など一定の成果を上げてまいりました。新年度は、目標達成と信州創生のさらなる飛躍に向けて全力で取り組み、プランの総仕上げを図ってまいります。

併せて、切れ目のない県政を推進するため、次期総合5か年計画の策定も進めてまいります。策定に当たっては、県民の皆様と幅広く対話を行い、人生100年時代の元気な長野県の将来像を描いてまいります。

また、本県の地域の強みや特性を最大限に活かした地域振興を進めていくため、新年度、地方事務所に代わり「地域振興局」を設置します。この地域振興局を中心に各現地機関が連携し、これまで以上に主体的・積極的に地域課題の解決に当たってまいります。

本年も、全力を尽くしてまいりますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年の皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

## 長野県民生委員児童委員協議会連合会 正副会長・理事・監事名簿(平成28年改選後)

会 長	伊藤 篤志	長野市	再任
副会長	松嶋 隆徳	安曇野市	再任
副会長	増田 宗彦	上田市	再任
副会長	椎名 佑平	飯田市	新任
理 事	小平 實	佐久市	再任
理 事	宮木 由博	中川村	新任
理 事	戸田 允文	茅野市	新任
理 事	畑中 実祐	王滝村	再任
理 事	清水 昌浩	松川村	新任
理 事	山本 勝宣	中野市	新任
監 事	大島 剛	千曲市	新任
監 事	小口 瀧明	岡谷市	新任

平成28年12月1日～

## 伊藤 篤志 会長

### インタビュー



#### プロフィール

長野市松代地区民生児童委員。平成16年12月より松代地区会長に。19年12月から長野市民児協会長を務め、25年12月より県民児連会長となり2期目。

昨年12月に、民生児童委員が一齐改選されました。県全体で5274名、内2990名、約57%が新任委員です。今回の「つなぐ」では、新任委員はもろん、再任委員のみなさんに向け、現在の民生児童委員を取り巻く現状や、今後の活動へのヒントを聞きました。

#### 過去3年間取り組んできたことは？

伊藤 2015年6月に軽井沢町で開催した「関東プロック大会」に続き、昨年9月長野市で開催した県大会もみなさんの協力で無事に終えました。

特に大きなできごとは、14年9月御嶽山の噴火や同年11月神城断層地震など大きな災害が起きたことでした。いつ起きるかわからない災害に対しての心構えや、地域の中でのマップ作りなど、「つなぐ」の特集はもろん、研修会や県大会でも取り上げ、時間をかけて皆さんと学んできました。

#### 災害時大事なことはなんですか。

伊藤 災害時に民生児童委員として、自分の身を守る事が第一原則となったことです。まず自分と家族の安全を確認してはじめて、地域のために動く、それが教訓です。東日本大震災、熊本地震では民生児童委員が犠牲となりました。そして民生児童委員同士の関係づくりや、地域の役員や関係機関との日頃からの連携、地道な見守り活動やマップ作り活動が、災害時に生き残ることを学びました。

#### 新任委員へのアドバイスをお願いします。

伊藤 覚えることも多く、どこから手をつけていいのか不安だと思います。まず第1に要支援者の見守り活動をしっかりやることから始めましょう。長野市では新人の時に必ず地域を回って、福祉台帳の確認をします。地域や活動の基礎資料となります。まず、引き継いだ情報をもとにして、対象者を躊躇せず訪問し、現

場を把握することです。そして関係機関につなぐことです。自分一人で課題を解決しようとするとトラブルになることもあります。病院への送迎や現金貸与などは決してやってはいけません。

第2には、周りとの関係づくりです。委員同士はもろん、行政、包括支援センター、保健師などの関係機関や、近所、区長など地区内のつながりを大事にしていくことです。定例会で委員同士や、専門機関の人たちと情報交換し、困ったらすぐ相談してください。第3は、活動記録をしっかり書くことです。あまり細かいメモは個人情報ですから必要はありません。資料の書き方や保存・整理なども先輩や会長、事務局に気軽に聞いてみてください。

#### 再任委員のみなさんにメッセージをお願いします。

伊藤 一度原点に戻って、自分の活動を見直してみることが必要ですね。仲間同士はもろん、ケアマネージャーなど関係者と連絡を密にすることは大事です。わかっているからいいと思わずに、「コミュニケーションを大事にしていきましょう。」

#### 新任委員への研修や協力という面ではどうですか。

伊藤 新任で会長という場合もありますが、先輩委員が協力して、地域の実情を踏まえたキメ細かな新人研修をやってもらいたいですね。特に、活動報告書を書くことをしっかり指導してほしい。また自分たちのやってきたこと、やっていただくことを、可視化してわかってもらおうように根気よく指導することです。

#### 定例会のあり方はどうですか。

伊藤 全員が発言できる定例会の雰囲気づくりや、何が地域で問題になっているのか、耳を傾けられる場づくりをしてほしいです。これは一例ですが、松代地区は委員数が多いので、定例会の後にグループワークをします。新人が思っていることを全部出してもらいます。また経験豊富な委員に別室で相談できるようにしています。相談内容を記録し回答をまとめ定例会で共有し、地域の包括や行政にアドバイスしていただきます。根気よく委員同士がやりとりをして、支え合うことが大事です。

#### 今年度は民生員制度創設100周年ですね。

伊藤 7月に東京ビッグサイトで1万人規模の民生員制度創設100周年記念大会が開催されます。長野県からは150人が参加予定です。天皇皇后両陛下をお迎えして式典を予定しています。翌日にはシンポジウムもあります。また、県民児協でも記念のしおりの発行や行事も予定しています。先人が支えてきた制度に誇りをもって、次の世代につなげていけるよう協力をお願いします。

#### 最後に読者にメッセージをお願いします。

伊藤 いま、「社会的孤立」が、高齢者だけでなく、障がい者や、母子家庭、子どもの貧困にも広がっています。老老介護や、認知症などの問題を隠して表に出さない「家庭の孤立」が、更に大きな社会課題となってくるでしょう。

民生児童委員の基本は、見守りです。地域で様々な環境の動向を見守っていくことが、ますます大事になってきます。「見守り役」として、民生児童委員自身も孤立せずに、手をつなぎ合って課題を解決していきます。つなぎ役こそが民生児童委員なのです。ぜひ、みなさん共に活動していきましょう。

日々、先輩の委員が地域でどう活動しているのか。  
2990名の新任の民生児童委員に向けて、経験を寄稿していただきました。

## 先輩委員が語る 民生児童委員とは



飯山市民生委員児童委員  
保坂 明美さん

### 頼りになるのが 委員の先輩方と仲間達

「民生委員さん、お願いしたいことがあるので来て下さい」。民生児童委員を引き継いで数日たった頃、高齢者世帯からの連絡があり、すぐに何つと「年賀状」の宛名書きをしてほしいと頼まれました。民生児童委員の研修もまだ受けてなく、これは委員活動なのだろうかと思いましたが、高齢者の安心した笑顔を見て20枚程の宛名書きをしたのが初めての活動でした。

その年の冬は大雪で、豪雪地帯ならではの雪害支援の対応に追われたのが次の活動となりました。

大雪の続いたある年度では、自衛隊の応援を得たり、ボランティアの人達が各地から駆けつけて下さった時、私も雪片付けは下手ですが、スノーダンブやスコップ

の使い方を教えつつ、一緒に汗を流しました。

日々の見守り、相談の他、大雪、地震、台風など自然災害時の活動は緊急なので自分の家のことは後回しになります。私の場合、自営の手伝いの他、6年半は義母の介護もあり家族の理解がなくては続けられませんが。

担当地区ごとに、身近な困りごとがあり、支援に悩む時、頼りになるのが民生児童委員の先輩方と仲間達。それぞれの課題に対し、お互いに意見を出し合い、又、愚痴を聞いてもらったりします。聞いた方も経験がひとつプラスされるのではないのでしょうか。

そして、民生児童委員一人では担当地域すべての状況を把握できないので、区長さん始め、町内の方々にも、何かありましたら、連絡や協力をと、お願いしています。

問題を抱えた方のお宅に伺った時、「年賀状」の時の様に、私の顔を見てほっとした表情に出会うと、少しはお役に立っているのかとうれしくなります。今日も、このところ、お会いしていないひとり暮らしのおばあちゃんのお宅へ。

「元気でいたから」「保坂さんちのねえちゃんかい？」で始まりです。



## 第85回全国民生委員 児童委員大会に参加して

長野県民生委員児童委員協議会連合会

事務局長 藤田 忠治

平成28年10月20日(木)～21日(金)の両日香川県高松市の「サンメッセ香川」を主会場に全国から約3700名の民生委員児童委員が参集のもと「第85回全国民生委員児童委員大会」が開催されました。本県からは理事、評議員の代表、長野市民児協、事務局の総勢32名が参加しました。大会は、20日に式典、特別講義、が行われ、翌21日には12の会場に分れて「活動交流集会」と「シンポジウム」が行われました。

―余談―大会初日に会場へ向かう途中で鳴門大橋の橋梁下に設けられた海面から45mにある「遊歩道」から真下の「渦潮」を見学しました。高所恐怖症の事務局と数名の委員さんは、途中で具合が悪くなりリタイヤしましたが、大多数の委員さんは無事「渦潮」をご覧になりました。

さて、来年の全国大会は、「民生委員制度創設100周年の記念大会」となり、7月9日(日)10日(月)の両日東京の「ビックサイト」で開催されます。

この大会には、長野県に150名の参加割当が

信濃町民生児童委員は、民生児童委員29名、主任児童委員2名の31名です。私の担当地域は、黒姫山の東山麓（標高8000m）の南北に長い（3km）、3地区で、115世帯、258名（平成28年10月現在）です。この地域もそうですが、高齢者世帯、高齢者

民生児童委員とは、なにをするのかと最初は戸惑ったことばかりでした。1年、2年と日の経過とともに、どのようなことを、どのようにしたらよいのか分かってきました。活動することが分かってきたときに、あれこれ江戸時代に何処かの藩で、地域で助け合っていたぞ、と思い出し、本を探してみたらありました。徳川幕府から美政として三度も表彰されている、上杉藩主の米沢藩です。「自助」民が自らを助ける。「互助」近隣社会で助け合う。「扶助」藩政府が手を貸す。「三助」により藩民の生活向上を追求したことです。

平成24年の1月後半は毎日雪が降り、1月30日に町豪雪対策本部が設置され、民生児童委員は、安否確認に動き出しました。2月1日に、2月10日まで災害救助法が適用になり、対策本部から「民生児童委員は現場職員と2月6日まで高齢者世帯などの状況確認をしてください」と指令が出されました。調査は、世帯状況、高齢者世帯、一人暮らし高齢者世帯、寝たきりの人のある世帯、一人親世帯を対象に、健康状況、生活状況、困りごと、雪降ろし、除排雪です。雪降ろしと徐排雪に必要な略図が写真を添付して行いました。民生児童委員は30日から安否確認をしているので、役場職員の調査票の記入に素早く行動することができました。調査票により町の除雪隊が出勤されました。昨年27年は雪が少なく、例年の3分の1くらいの積雪でしたが、今年はどうなるのかと心配です。どんな時でも早めに行動を起こすように、これからも心がけようと思います。

## 先輩委員が語る 民生児童委員とは



信濃町民生委員児童委員  
原山 公平さん

### 江戸時代から続く

### 「三助」という美政

一人暮らし世帯が多く、こまめに見守りすることを心がけています。なるべく声掛けをしていますが、畑や庭先での仕事をしている姿を見かけることや、朝食の匂い、夕方の電気などの見守りをしています。全国で自然災害が多発しているなかで、民生児童委員で何が出来るか、何が足りないのかを検討するため防災小委員会を作りました。委員会の話し合いで、災害時の安否確認のための「要援護者マップ」を作成することを決め、全員で作成しました。

信濃町は、雪が多く、新潟との県境方面や黒姫山麓の標高の高いところでは、2mを越します。南方面でも1・5mを越します。町では、一日の降雪量が80cm越え及び積雪2m以上で警戒本部が設置され、非常配備されます。

あり、先に各市町村民児協へ参加割当をお願いしたところでした。詳細につきましては順次詰めてまいりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。なお、本大会の様子は、掲載の写真をご覧ください。



▲会場前で参加者全員



▲式典風景



会場内の様子

# 民生児童委員活動の現状と課題

民生委員制度発足100周年を前に、全国的な視点で25年10月から26年3月まで5回に渡って行われた「民生委員・児童委員の活動環境の整備に関する検討会」の報告書（平成26年4月全国民生委員児童委員連合会複製・座長：上野谷加代子）を抜粋して紹介します。その現状と課題の解消に向けて提言がなされました。民生児童委員の役割を考える上で活動の全体を把握し、地域での活動に役立てていただくようお願いいたします。

## 新たな課題への対応

地域コミュニティの希薄化、孤立死問題、ニート・ホームレスの貧困問題などが山積する中で、平成25年12月に生活困窮者自立支援法が成立し、生活困窮者への対応、高齢者を対象とした悪徳商法への被害防止対応、災害対策基本法の見直しによる避難支援など役割が追加されて来ています。また児童虐待に関する相談対応件数が増加、子育てに悩む保護者への育児負担の軽減が必要となっています。



## 民生委員児童委員活動における課題

### 1. 活動範囲

民生委員法第1条「社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、及び必要な援助を行い、もって社会福祉の増進につとめるものとする。」とされ、民生委員法第14条、児童福祉法17条でその職務が規定されています。

しかし現実的には、地域住民の相談窓口として、幅広く「地域住民のために」という思いの中で活動しています。日常的な支援を求められたり、行政や社会福祉協議会から敬老金など公的給付金の配布を依頼されているところもあります。

委員の活動は「個別支援活動」「民児協活動」「地域の福祉活動」に大別できますが、地域の実情を踏まえて活動の重点化や適切なバランス配分が必要です。

「ふれあい・いきいきサロン」「子育てサロン」などの実施事例も多いですが、回数が増え負担が多くなる場合は、地域のボランティア団体などに引き継ぐこともひとつの方向です。

地域の見守り活動については、孤独死などがあった場合に民生児童委員の精神的な負担とならないような態勢が必要です。

### 2. 役割の多様化と負担

単身世帯の増加や地域コミュニティの希薄化で、支援すべき対象者の増加と問題の複雑化、多様化が進み、活動量が増加しています。

高層住宅など、都市部での問題が集積し、定数では対応できないという意見もあります。

また委員の活動中の事故もあり、対応が課題です。

全国平均では6割が6年未満の委員ということで、経験の少なさが負担感につながるとも言われています。会長などの要職につくと、行政機関などの充て職が依頼されることがあり、負担となっている事例も多く見られます。

### 3. 問題の複雑化・多様化

民生委員の適格要件として「社会奉仕の精神に富み、人格識見とも高く、生活経験が豊富で、常識があり、社会福祉活動に理解と熱意がある者」とされています。現状として必ずしも福祉に精通している者ばかりではなく、直面する課題が多様化・複雑化しているため、自己研鑽に努め、力量を高めることが必要です。

近年生活保護受給者が増加しているため、生活困窮に至るリスクの高い層も増加していると考えられます。失業や疾病などを背景に社会的に孤立した世帯の自立支援は、いかに早期に発見してつなげていくかが課題です。

認知症高齢者や精神障害者の地域移行など、接する際にそれぞれの特性への理解も深める必要があります。



「民生委員・児童委員100周年」シンボルマーク

地域によって、外国籍住民への理解と支援も課題となっています。

#### 4. 災害時の活動

震災が起きた事例では、広範囲に避難している場合に委員の負担が大きくなり、避難生活の長期化では専門家との連携も必要となっています。また民生児童委員も被災者である場合、本人への支援も課題です。災害対策基本法では避難支援関係者として位置づけられています。委員の役割と責任が大きくなることが危惧されます。

#### 5. 個人情報の取り扱いと関係機関との情報共有

具体的な活動の中心は個別支援としての見守りです。要支援者の情報が必要となります。しかし行政や関係機関から提供されないこともあり、活動に支障があるところがあります。民生児童委員は特別職の地方公務員です。守秘義務が課せられており、個人情報を慎重に扱わなければなりません。第三者への情報提供を行うことに正しい理解が必要です。自治会や町内会などとの情報共有方法も課題です。

#### 6. 活動への支援・協力体制

地区によって行政の担当者の委員への支援の濃淡があります。高齢者支援では、地域包括支援センター（社会福祉士、主任ケアマネージャー、保健師）、社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー、地域福祉コーディネーター）との関わりが多くなっていますが、児童や障がい者支援の専門家との関わりが希薄です。

単位民協は、活動基盤として、課題を吸い上げ、委員からの相談を受け支援する体制づくりが課題です。

#### 7. 社会的理解

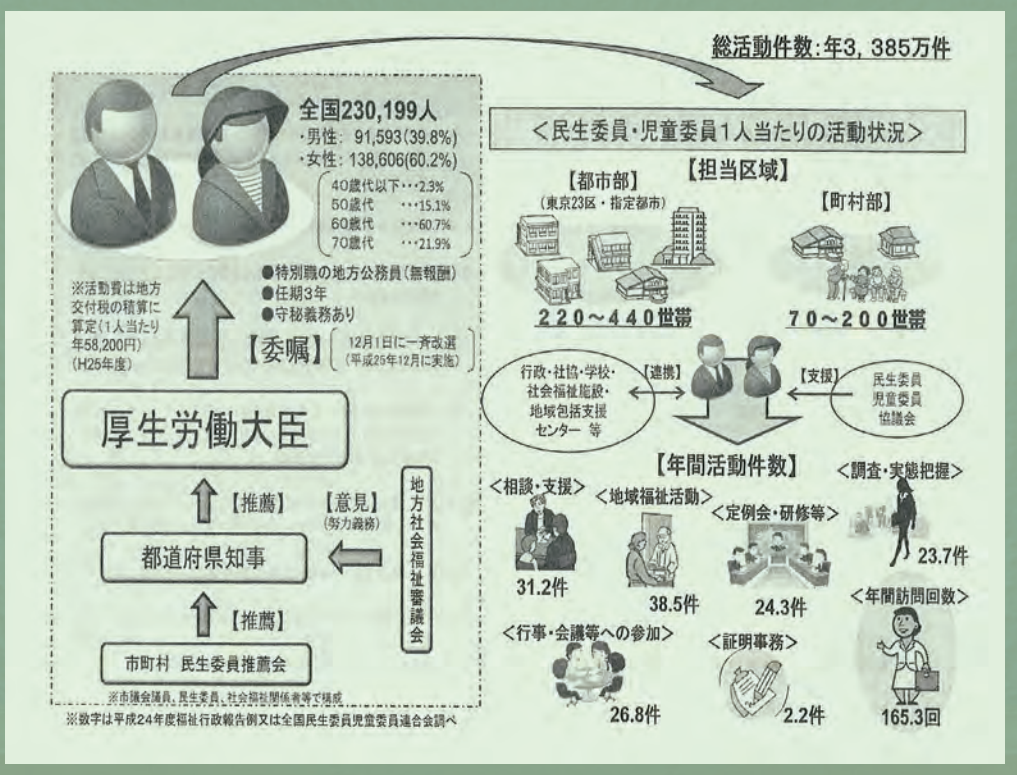
行政などからの業務依頼により、委員が忙殺される可能性があり、活動に対して理解を深めてもらう上で、業務依頼をしてもらう必要があります。

「民生委員の日（5月12日）」「活動強化週間（5月12日から1週間）」を中心に広報活動を行っています。民生児童委員の制度とその活動について地域住民

### 《民生委員・児童委員に期待すること》

- 民生委員・児童委員制度は「済世顧問制度」発足から今年で100周年を迎えます。厚生労働大臣委嘱のもと、23万人もの委員が強い使命をもって活動を続けていることは、他に例をみない、我が国の誇るべき制度です。
- 「自分で自分を助けられない人」を発見し、見守り、適切な時期に必要な手立てにつなげるという役割があることから、「地域福祉推進の要」として期待されています。
- 子育てに悩む保護者の支援が必要な家庭を関係機関へつなぐ役割として期待されています。
- 行政や関係機関との連携や協力が必要です。

### 民生委員・児童委員の活動状況（平成25年3月31日現在）



にあまり知られていないという状況もあります。民生児童委員の「なり手不足」も課題となっています。活動量の多さや負担感の高まりで、選任が困難になったり、委嘱後短期間でやめてしまう事例もみられます。活動費は交通費や通信費として支給されていますが、活動量の増に伴う経済的な負担も増加しています。

# 祝 長野県社協・全社協・全民児連会長表彰受賞

## 長野県社会福祉協議会会長表彰(民生委員・児童委員功労)

安藤 泉(岡谷市) 近藤 和子(飯田市) 菅田 節義(松本市) 井出 進子(川上村)

## 全国社会福祉協議会会長表彰(民生委員・児童委員功労)

伊藤 篤志(長野市) 安藤 勝之(長野市) 長岡 照正(飯山市)  
増田 早苗(安曇野市) 両角 一幸(上田市)

## 全国民生委員児童委員連合会会長表彰(永年勤続)

櫻井 美津恵(阿智村)	和田 正(信濃町)	土屋 信子(軽井沢町)
松尾 久子(大鹿村)	佐藤 和男(高山村)	小平 武(諏訪市)
依田 きくよ(小諸市)	金田 照俊(茅野市)	春日 和子(千曲市)
竹内 悦子(安曇野市)	井原 きみ枝(長野市)	西澤 定男(長野市)
松原 仁美(売木村)	宮木 昭彦(上松町)	千野 千鶴子(松本市)
高橋 昌子(松本市)	西村 正治(松本市)	



### 表紙写真紹介

## 「玉だれの滝」

撮影

上田市豊殿地区民生児童委員協議会 矢沢地区担当 **樋村 守彦さん**

profile 写真が好きで、風景、花、昆虫、露、霜模様等を被写体に撮って自己満足にふけています。仲間と、撮影旅行に出かけたり親交を図っています。

### 表紙写真募集!!

表紙を作品発表の場、地域の紹介の場にと考えています。日ごろ写真を趣味にしているらっしゃる民生児童委員の方々の地域の風景やお祭りなどの風物詩を撮った写真を募集します。

デジカメで撮った作品の電子データをCDRに入れて、撮影者のプロフィール、写真の内容に関する説明を添えて県事務局まで送ってください。 詳細は県事務局(026-225-1613)まで。



3年間の編集委員の任期を終えました。  
「つなぐ」116号~127号の編集に携わりました。  
ご協力頂き、ありがとうございました。

新年を迎え、今年の健康と躍動を願ってやみません。  
昨年12月の一斉改選で、新たに選任された民生児童委員は、長野県全体で5,274人、このうち2,990人が新任とのことですが、これから3年間の任期に期待します。  
高齢者や障がいのある方、子どもたち等それぞれの見守りや、相談相手として、もっとも身近で活動することは勿論のこと、同時に内容の多様化にも対応することが求められることになろうかと思えます。  
今月号は、これからの活動の課題について専門の先生からアドバイスを頂きましたので、各民児協で討議をするのも良いかと考えます。また、先輩の方からも寄稿をお願いしましたので、活動の参考にさせていただければ幸いです。  
新任委員となられた方は2期、3期と長く続けられることを期待します。私たち編集委員は今号をもって、3年間の任期を終えることになりましたが、これまでに寄稿・取材・インタビュー・写真の提供等々で多くの皆様のご協力に対し、編集委員一同心から感謝と御礼を申し上げ、新しい編集委員に委ねます。

(依田 宗夫)



編集委員

リレー日記

編集委員 / 熊井 文弘・草深 邦子・古川 友枝・依田 宗夫